学校番号	1301

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ⅰ Standard　（東京書籍 出版）						
副教材等	ニューファースト新数学Ⅰ（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対し、自ら考え、周囲の人たちと共同して活動を行います。
・１年生での「学びなおし」がどれだけできているのか確認しながら授業に臨みましょう。
・「課題を理解→結果の予想→解決の方法を構想→解決する→解決までの過程を振り返る→より良い解決方法を考える」という一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・授業用のノート・プリント類は、定期的に提出をしてもらいます。
・最後まであきらめず頑張りましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数と式、２次関数についての基礎的な知識や技能を習得します。
【思考力、判断力、表現力等】
事象に対し、数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識できるようにします。
【学びに向かう力、人間性等】
数学的な知識を活用する態度を身につけるようにします。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数と式、２次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数の関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	数と式	1　式の展開と因数分解	a: 乗法公式の意味や、複雑な式が簡単な式に帰着できることを理解している。 b: 目的に応じて、的確に式を変形する方法を考察することができる。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 練習問題 練習プリントなど	授業の取り組み 振り返りシートなど
		1　式の展開と因数分解	a: 因数分解の公式の意味や複雑な式が簡単な式に帰着できることを理解している。 b: 一つの文字に着目し、一つの文字に置き換えたりするなど、いろいろな式の見方をすることや、目的に応じて、的確に式を変形する方法を考察することができる。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 練習問題 練習プリントなど	授業の取り組み 振り返りシートなど
ステージ2		2　実数	a：数を実数まで拡張することの意義や実数が数直線上のテント1対1に対応していることを理解している。 b: 数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察することができる。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 練習問題 練習プリントなど	授業の取り組み 振り返りシートなど
		3　1次不等式	a:不等式の中に含まれている文字の意味や不等式の性質及び1次不等式とその解の意味を理解し、解を求めるための基礎的な知識を身に付けている。 b:1次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察することができる。不等式の性質を等式の性質と対比して、不等式の性質を基に、1次不等式の解き方を考察することができる。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 練習問題 練習プリントなど	授業の取り組み 振り返りシートなど

ステージ3	2次関数	1 2次関数とそのグラフ	a: 2次関数の式やグラフの特徴について理解している。 b: 2次関数の式とグラフを関係付けて考察することができる。 c: 諦めず、前向きに取り組む。	確認テストなど	成果物 練習問題 練習プリントなど	授業の取り組み 振り返りシートなど

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度